

# スキーを通じて 冬の交通安全啓蒙

## ふらの スキークラブ



▲交通安全協会とともにスキー場で交通安全啓蒙

スキーを楽しむ人たちが集まって、さまざまな活動をしているふらのスキークラブ(坂口道郎会長)が設立されてから今シーズンで10年という節目の年を迎え、3月には記念の集いも行われます。

クラブは、スキーシーズンの12月から3月まで活動し、主に毎週水曜日と日曜日に会員が集まり一緒にスキーを楽しんだり、スキー学校の指導員を招

いた講習会や他地域のスキークラブとスキーを通じた交流会などを行っています。

現在所属するメンバーは55人で、近年では移住してきた人やオーストラリアをはじめとする外国人も仲間に加わるなど「シニア世代になっても滑りたい人、富良野に魅力を感じて移住してきた人など、老若男女問わずいろいろな人たちが会員となり、スキーを通じながら和気あいあいの交流をしている」と坂口会長は話します。

また、クラブでは3年前から仮装して交通安全の旗を持ちながら北の峰ゲレンデを滑走する「交通安全PRスラローム」を実施。「冬の期間は道路脇で交通安全の旗を振ることはできないので、せっかく富良野に遊びに来て、事故などで悪



▲ゆっくり滑りながら交通安全をPR

い思い出にならないように」と始められた取り組みで、今年はスキー祭りに合わせて会場を訪れていた人たちに交通安全PRをしています。

「富良野には、すばらしいスキー場があるので、初心者をはじめ、特にシニア世代の人たちには冬の楽しみ方の一つとしてスキーを楽しんでもらいたい」と話す坂口会長。「クラブではスキーの技術向上をめざす人やみんなで楽しく滑りたい人など、スキーを通じたコミュニケーションを図りながら、活動しています。一人よりみんなで滑ることは誰もが憧れていることだと思っているので、興味のある方はぜひ一緒に楽しみましょう」とこれからも、ふらのスキークラブは、交流の輪を広げながら活動していきます。



▲スキー祭りの舞台上で仮装コンクールの表彰式